

平成30年度第4回区政会議での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	回答者	対応	担当課	備考
平成31年度大正区運営方針 予算 事業・業務計画書	1 「事前質問に対する回答3-1-8」にて、認知症サポーターや普通救命講習への広報強化という回答であったが、広報という告知ばかりになってしまいうように思うので、もっと参加者が増えるような施策を講じてほしい	御手洗委員	継続的な広報活動を通じて、参加促進をしていきたい。その他にも参加者増が見込める施策があればアドバイス頂きたい。 次回までに広報以外の参加促進方法について、委員の意見も伺いながら案をご提示する。	(地域課) 三宅課長 区長	例として挙げていただいた講座は、いずれも区役所が主催しているものではないため、区役所ですることとして広報の強化という回答をさせていただいたところです。 今後は、両講座に限らず、地域福祉・地域防災につながっていくような講座について、委員のご意見も伺いながら参加者増に向けた方策を検討し、次回ご提示いたします。	地域課	
	2 「学習・登校サポート事業」は、現在小学校にてトライグループが行っているものか。また平成31年度は中学生も対象となるということだが、現在インコスにて学習支援を実施している部分とのすみわけはどうか。	御手洗委員	平成30年度の小学校の学習支援における受託事業者はトライグループである。平成31年度について、「学習・登校サポート事業」は中学生も対象とするが、中学生は主に登校サポートを行っていく。中学生の学習支援については、引き続きインコス自立アシスト事業やつつじ塾でカバーしていく。	(こども教育) 池田課長	「学習・登校サポート事業」の対象者については、こどもサポートネットにおけるスクリーニング会議において支援が必要とされた児童・生徒を対象としており、その会議において、自立アシスト事業やつつじ塾などの既存事業で支援可能な場合はそれぞれの窓口へ繋げることであります。今回、本事業を中学生まで拡大を行った背景には、こどもサポートネットのスクリーニング会議で支援方法を検討を行う際、兄弟、姉妹が小中学校に分かれ、一体的な支援の検討が困難なケースが見られることや、外出そのものが困難なケースなど既存事業の学習支援への繋ぎができない事例が見られたことから、本事業で対応することとしたものです。 こどもサポートネットで本事業への支援の方向性を決定することにより、これまでの申請待ちの状態から、行政が主体的に働きかけができるものと考えています。	こども・教育	
	3 「大正区まるごとネット」について、事前質問にも出しましたが、この場でも進捗状況を教えてほしい。	木村委員	地域支援機関のネットワークづくりを通じて各機関が連携するとともに、地域住民が地域の困りごとを「我が事」として「丸ごと」受けとめ、地域ぐるみで解決につなげていく「大正区まるごとネット」を構築していく。後ほど詳しく説明するが、区役所では、区内10地域での要援護者支援の仕組みづくりのサポートを行っていく。	(保健福祉課) 松原課長	回答済み。	保健福祉課	
	4 「事前質問に対する回答2-1-15」にて、増ページの対象となる4テーマと、5か月分の増ページ理由を教えてください	那須委員	現状の8ページでは、情報の発信がしきれていない面があり、限られた予算の中で増ページ分の予算を計上した。 大正区将来ビジョン2022の基本的な考え方の中に、基本的な4つの柱として、地域防災、地域福祉、子育て・教育、地域コミュニティの情報発信を掲げている部分が今回対象となるテーマ。	(政策プロモーション) 近藤課長 区長	回答済み。	政策プロモーション	
	5 予算が約20,000千円増額を理由を教えてください。また「児童いきいき放課後事業」はどこの局の事業か。	那須委員	予算の増額については、駐車場有料化による歳入の増加と、予算規模が大きい他の区からの移転などを合わせた額。「児童いきいき放課後事業」はこども青少年局の所管である。	(総務課) 村田課長	説明の補足となりますが「予算規模が大きい他の区からの移転」とは、現在、大阪市の歳出削減策として、各区一律にマイナス1%シーリングをかけ予算を編成しておりますが、その削減額を、予算規模が少ない区などに優先的に再配分を行っております。その結果、予算規模が少ない当区においては、予算額が増加しています。	庶務	
台風21号の検証と今後の対策	6 南海トラフのような巨大地震が、夜間発災する可能性も十分ある。停電時も作動する街路灯を設置する予定はないとのことだが、夜間の避難、どのように逃げるのかを具体的に示してほしい。	山北委員	区役所として災害時の備蓄の広報をする中で、各自の懐中電灯の備えを周知していく。 自助とはいえども、ガイドラインを示す必要があると考えている。また、夜間の防災訓練の実施も検討していきたい。 消防が建築確認している施設については、避難口誘導灯や非常照明の設置が義務付けられており、常用電源が断たれても一定時間は点灯しており、避難路は確保できると考えている。	(地域課) 三宅課長 区長 (オザバー) 角田消防署長	区民の皆さんにお示しする自助ガイドラインの中で、懐中電灯の備えとともに、できる限り安全に避難できるよう普段から避難場所や避難ルートを確認しておくことの必要性などを周知してまいります。 平成31年度に策定を予定しております地区防災計画（風水害編）に併せて自助ガイドラインについても検討を行い、2020年の台風シーズンまでにお示しします。	地域課	
	7 自助・互助・共助・公助という考え方が非常に良いが、互助・共助の線引きを示さないと、二次災害が起こる可能性があるのでは。	山北委員	まずもって自助、自分の身を守ることが基本と考えている。 一般住宅においては、自助を基本に、地域防災リーダーの研修・訓練を、各小中学校と連携して実施している。また各自の備えについて平時から消防・区役所ともに広報していきたい。	(地域課) 三宅課長 (オザバー) 角田署長	災害発生時には、「自助」（自分の身を守ること）、地域における「互助・共助」のしくみとして、自力での避難が困難な方も含めてご近所で助け合いながら避難すること、倒壊家屋や瓦礫等に埋まった人を救助する「公助」のそれぞれの役割に基づき行動することが基本になると考えています。そして、の地域防災体制が実効あるものとなるよう、平時の福祉的見守りと災害時の支援を一体化した「要援護者支援システム」の構築により、災害時に誰も「置いてけぼりにしない」要援護者支援の体制づくりを進めていただくこととしており、区役所としてバックアップしてまいります。	地域課	

昭和山の復旧	8	植栽はいいことだが、定期的なメンテナンス（伐採）が必要だと思う。千島公園も、木が伸びすぎていて見晴しが悪かったし、鳥害などの悪影響もある。	上村委員	見晴しについては、多くの方からも意見を頂いており、復旧の大きなテーマだと思う。植栽については、木の種類を見直すなども方法もある。	区長	いただいた意見をもとに、3月下旬には区役所、建設局にて千島公園樹木復旧計画（素案）のとりまとめを行い、7月の区会議では千島公園樹木復旧計画（案）のテーマで議論を行いたいと考えております。	政策プロモーション	
--------	---	---	------	--	----	---	-----------	--

【議員等からの意見等】

意見内容	委員名	回答	回答者	対応	担当課	備考	
9	区会議のアンケートにより、活発な意見は出来ているが、議論がフィードバックされていないとのこと。委員の意見に対して、区役所はもう少し踏み込んで回答してほしい。	金沢議員			今回皆様からいただいたアンケートの結果を踏まえて、次年度の運営について内部で協議させていただきました。現時点ではまたブラッシュアップの途中ですが、次回の6月の会議までには、新しい区会議の形にできるよう検討してまいります。	政策プロモーション	
10	昭和山は、広域避難場所として不適当だと聞いている。	金沢議員	昭和山の広域避難場所については、津波のみ避難ができないということです。	区長	回答済み。	政策プロモーション	
11	「大正区まるごとネット」が来年度から稼働するということに関して、今後起こりうる災害に対し、要援護者支援は重要。実効的な支援が可能になるよう、私も頑張りたい。	小原議員			災害時に誰も「置いてけぼりにしない」ためには、要援護者一人ひとりの状況や状態、配慮が必要な事項を把握し、それぞれに見合った支援をどうするかという個別の支援プランを事前に決めて要援護者と支援者が共有しておくことが重要であると考えております。 「大正区まるごとネット」の重要な機能の1つである要援護者支援の仕組みは、平時の福祉的な見守り、災害時の避難支援に加え、避難支援をより実効性あるものにするための個別支援プランの作成までと考えており、各地域で作成いただく地区防災計画に「個別支援プラン」の作成について記載いただくとともに、区役所においては各地域での「個別支援プラン」作成を最終目標に、それぞれの地域事情を踏まえた要援護者支援の体制づくりについてバックアップしてまいります。	保健福祉課	
12	児童虐待のことが事前質問にあったが、通報が多いのは警察とのこと。大阪府警などと連携し情報共有できる仕組みが本年度からスタートしている。	金城議員			大阪府においてはH30年8月から、こども家庭センターと大阪府警察間で児童虐待通告事案の全件について情報共有が開始されています。	こども・教育	
13	防災に関して、三大水門（木津川・安治川・尻無川）について更新時期を迎えるため、来年度の木津川水門の建て替えを皮切りに、立て替え事業が始まっていく。	金城議員			大阪府では、老朽化する三大水門の更新について、大阪府河川構造物等審議会の平成29年9月4日付け答申を踏まえ、現水門付近に津波・高潮に対応できる新たな水門を建設する対応方針を決定しております。 平成31年度にも設計作業に着手しますが、完成までには10年近くかかる見込みとなっております。	地域課	
14	本日も防災について多くの意見が出た。話のあった普通救命講習はこれまで100万人を超える人々に受講してもらい、広報もしているつもりだが、まだまだ認知が足りないと感じている。最近では、中学校と共同で講習を行ったりもしている。守りだけでなく、積極的な周知も含めた攻めの行政である必要を感じている。	角田消防署長			今後、区役所としましても、より一層消防署との連携を強化してきめの細かい周知を行うなど、普通救命講習の受講者の増加に向けた具体的な方策について検討し、次回ご提示いたします。	地域課	

【ご意見シートでの意見等】

意見内容		委員名	回答	回答者	対応	担当課	備考
平成31年度大正区運営方針、予算、事業・業務計画書	15	御手洗委員			<p>「大正区将来ビジョン2022」の「はじめに」のなかで、大正区長の使命は「区民自らの力で地域を担い、自分たちが主役となる」ように「行政的、財政的、事務的にサポート」することとしています。</p> <p>また、「【5】『区民が主役』のまちへ」のなかでは、地域課題の解決は、各地域まちづくり実行委員会が「自律的に進める」こととしており、そういった考え方のもと、予算案を編成しております。</p> <p>ビジョンの趣旨をご理解いただいたうえで、区民の皆さまが地域課題の解決に向け民主的かつ自律的に運営されているさまざまな活動に対して財政的な観点だけでなく、行政的・事務的にサポートしてまいります。</p> <p>さらに、様々な会議などの場において区民の皆さまからいただいたアイデアのうち、ビジョンの推進に効果的なものについては、区政会議においてその実現性などを議論のうえ、その予算化に向けて検討してまいります。</p>	庶務	
	16	御手洗委員			<p>本事業の対象者については、こどもサポートネットのスクリーニング会議で検討を行う支援方法のひとつとして、平成30年度までは小学生を対象にしておりましたが、既存事業（インコスやつつじ塾など）では対応できない中学生や不登校である小中学を抱える家庭にも対応するため、平成31年度から支援対象を中学生まで拡充、予算も4,569千円増額し、家庭全体への支援に努め、支援の進捗や結果についてもこどもサポートネットの会議で情報共有、支援の再検討などを行うことで事業者任せにすることなく区が主体的に関わってまいります。</p> <p>また、本事業については、対象児童・生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かいサポートを行うため、学習支援や登校支援に加え家庭支援を一つの事業として取り組むこととしております。</p>	こども・教育	
	17	御手洗委員			<p>広報紙を見ていただいているかについては、H29年度実施の区民モニターアンケートで調査しており、「毎月、ほぼ、たまに」読んでいる方は87.5%でした。そのアンケートでは、男女別・年代別に集計を行っています。</p> <p>さらに「広報紙に掲載してほしい情報」についてもご意見をいただいております。</p> <p>今後は、いただきましたご意見を参考に、H30年度から新たに導入した区民意識調査の設問内容について検討します。</p>	政策プロモーション	
	18	御手洗委員			<p>本施設は、大正区の玄関口としてインフォメーション機能を有した情報集積・発信拠点化と水陸運動により回遊性を高めるアクセス拠点化に向け事業を進めてまいります。水辺からまち（内陸部）への来訪者の回遊をコンセプトの一つとして事業者を募集しており、区の中央部や南部へにぎわいが波及するような企画、イベントは、コアコンテンツとなっております。</p> <p>また、大正区のまちづくりの核となる大きなプロジェクト（委員の言葉でいうところの目玉）としましては、中部は健康・医療、子育て、ボランティアをテーマとしたの拠点として、南部は万博誘致をきっかけとした海上交通の誘致を行うことにより、地域ごとのポテンシャルを高めていきたいと考えています。</p>	政策プロモーション	

	19	事業・業務計画書【取組番号47「ひとり親自立支援事業」】について。 ひとり親の支援でP96に記載はありますが、「多くの手続きに困難な思い」への対策が知りたい。 多くのサービスを利用すればするほど、連絡等の窓口数が増え時間が割かれるケースが増えます。 子供や介護に追われる人は、余裕がありません。 当事者を支えている人の支援をもっと考えた事業を行えば、人口増につながり良い町となると考えています。	御手洗委員		ひとりで慣れない手続きを進めることに、ひとり親家庭の方はご負担を感じておられ、対策としては、区役所での手続き漏れが無いよう、窓口で相談シートを作成し、必要書類を記載しわかりやすくご案内するよう努めておりますが、委員からのご意見を踏まえ、各制度や手続きの説明につきましては、フロー図などを示しし視覚的にも分かりやすい内容に改善して参ります。 また、事前にどのような手続きや手当があるのかなど不安を解消するための対策としては、「離婚前相談」を実施しています。 大阪市では離婚・養育費に関する弁護士専門相談や区役所では、ひとり親家庭サポーターによる相談を火曜日・木曜日に行っております。なお31年度からは、養育費の手続きに関してひとり親サポーターが同行支援を行い、精神的な負担軽減に努めてまいります。	こども・教育	
水 景 施 設 の 再 整 備	20	雨宿りスペースを作る。 道の両端に太陽光LEDなどで、夜は光のようにする。 遊べる斜面（ダンボールなどで）があっても良い。特に と は防災にも役立つ。 レンタルガーデニングスペースの確保。人の交流の場にもなり、愛着も増す。	御手洗委員		それぞれのご提案ですが、 比較的強い雨には対応できませんが、少雨の場合の雨宿りスペースとして、再整備範囲内に設置されている藤棚を更新する予定です。 今回再整備する広場周辺の照明の明るさを確認したうえで、LED照明灯の設置が必要かどうか検討します。なお、太陽光を活用した照明灯は、通常の照明灯に比べて照度が低く、維持管理費が高いといった課題があるため、設置は考えておりません。 再整備範囲内で地形の起伏がなく、また、設置できるスペースがないため設置が困難と考えております。 今後の具体的な計画策定にあたり、検討します。	政策プロモーション	
そ の 他	21	子供区政会議の開催。 各校区の代表の子が集まって、大人が行っている同じテーマで（簡略化はする）話し合ってもらおう。 地元愛を育み、大正区を作る大人に成長するはず。	御手洗委員		行政やまちのこと、働くことそのものについて学習する機会として、区役所では毎年区内中学校の職場体験を受け入れております。 これまで、防災やものづくり活性化など、区役所の業務を体験していただいています。委員ご提案の子供区政会議は、その体験内容として検討してまいります。	政策プロモーション	
	22	小学校や中学校の中に地域の人（誰もが）関わられる教室があると良い。勉強だけでなく、料理やパソコン、特定業種のこと、税金のことなど学校では教えてくれない学びのある場があると良い。	御手洗委員		誰もが集まれる場所が地域で作られ、多くの人の居場所ができることは、地域の活性化や教育において有効であると考えております。 場所においては小中学校の施設だけでなく、地域集会所などの地域資源の活用も重要と考えています。 区役所としては、教育行政連絡会での各地域の取組み紹介や学校協議会の補助を行い、学校と地域がより協力しご提案いただいた場が創出されるように働きかけをしてまいります。	こども・教育	
	23	もっと閉鎖的な地域を社会的にする対策もしてほしい。	御手洗委員		本市においては、地域コミュニティを長年にわたり支えていただいている地域団体において、担い手不足や役員の高齢化等といった問題が次第に大きくなってきていたことから、各地域において、地域団体をはじめとする多様な主体が集まり、各団体の強みを生かして、地域を活性化していただくことをめざし、各地域において地域まちづくり実行委員会を立ち上げていただくことになりました。 大正区においても、全地域において立ち上げていただき、活動に対する財政的支援を委託料という形で実施してきましたが、地域コミュニティのより一層の充実を図るためには、地域の自主的な活動に対する補助制度の方が有効であることから、来年度新たに補助制度を創設することになりました。 各地域においては、多様な活動主体が参画して、補助金を活用し、地域課題に取り組んでいただくことを通じて、地域に対する愛着心が高揚され、各地域のコミュニティがより一層活性化されることを期待しています。	地域課	

【区長発言】

- ・ 会議のやり方については、変革が必要と考えているが、どのテーマも本日やらなければいけないことで、テーマを絞ることは難しいとも考えている。皆様からの事前質問などの文書のやり取りも含めた区政会議だと考えている。
- ・ 要援護者支援システムについて、大正区では防災体制は自助を基本に考えているが、自助が出来ない人々を救うということ。災害時に一人残らず救うために、地域の皆さんで要援護者を見守り、個別支援プランを作成していただきたい。それには地域の住民の取組みが必須となる。そうした地域を増やすためには、今地域でご活躍頂いている皆様のご協力が必要と考えている。
- ・ 昭和山については、先ほど議論で出た見晴しに加えて、安全ということをテーマに計画を作っていきたい。異なる意見をお持ちの方は、ぜひご意見シートに記載頂きたい。